

「外国のジャンケンに挑戦しよう！」 活動展開例

[ねらい]

コミュニケーション活動	いろいろな国のジャンケンに興味を示し、英語を使って友達をジャンケンに誘おうとする。
言語・文化の理解	・東アジアや東南アジアの国々には独自のジャンケンがあることを知る。 ・三つの物が互いに得意な相手と苦手な相手を一つずつ持ち、それで三者とも身動きが取れなくなるという、「三すくみの関係」でバランスをとろうとする考え方が、いろいろな国にあることに気付く。

[主な言語材料]

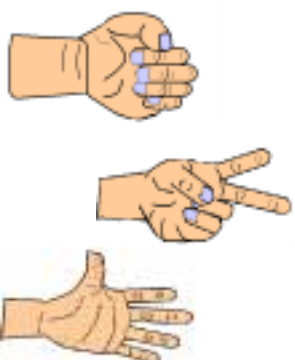
- ・ Let's play janken. OK. / Yes, let's.
- ・ Rock, Scissors, Paper, go !

[準備]

教師	ワークシート、ジャンケンのイラスト (A4版)
児童	特になし

[展開]

時間	活動内容 ねらい	留意点	教師の動き	予想される児童の反応
↑	1 英語であいさつをする。 明るく元気な雰囲気を作る。		1 元気よくあいさつをする。 Hello, everyone. How are you? Hello. I'm fine. (good, OK, so so, tired, hungry,.....)	
	2 ジャンケンについて考える。 ジャンケンについて振り返り、グー、チョキ、パーの英語での言い方を知る。	発問の意味が理解できるように、それぞれの手の形をジェスチャーで示しながら発問する。	2 日本のジャンケンについて確認する。 みんなは、どんな時にジャンケンをしますか。 ・順番を決める時。 ・鬼を決める時。 ・残った給食をもらう時。 そうだね。生活のいろいろな場面でジャンケンが使われているね。 では、日本のジャンケンでは何が使われているのか、英語で確認してみよう。 What is 「グー」? 石、岩、.....stone,..... rock,..... OK. 「グー」 is rock. Please say rock. rock, rock,.... Good. What is 「チョキ」? はさみ、....「はさみ」は英語で何て言うの。....,scissors,....	



10分

OK. 「チョキ」 is scissors. Please say scissors.

scissors, scissors,....

Good. What is 「パー」?

paper,.....紙,.....

OK. 「パー」 is paper. Please say paper.

paper,paper,.....

実は、英語でのジャンケンも日本と同じ考え方なのです。今、練習した rock, scissors, paperが言えればすぐできます。みんなでやってみましょう。

欧米などでは、順番を決める時などは、コインを投げることが多いが、最近ではジャンケンも徐々に広まっていることを伝える。

自信をもって楽しく取り組めるよう十分に練習させる。特に、Scissorsの発音を繰り返し練習し、自信をもたせる。

かけ声は、Rock, Scissors, Paper, Go! です。「あいこ」の時は、goを繰り返し言いましょう。では、練習してみましょう。Rock, Scissors, Paper, Go!

Rock, Scissors, Paper, Go! Rock, Scissors, Paper, Go!

では、となりの人と2～3回、勝負してみてください。

『ひたすらジャンケン』のルールを説明して、取り組ませる。
【構成的グループエンカウンター】

3 『ひたすらジャンケン』に取り組む。
制限時間内にたくさんジャンケンをすることで、多くの友達と触れる機会をつくる。

『ひたすらジャンケン』を英語で行います。「3分間で、何回勝てたか」を競い合います。なるべく多くの友達とジャンケンをしてください。一人の友達との勝負は、1回だけです。

児童が自信をもって楽しく活動できるよう十分に練習する。

相手を見つけたら、「ジャンケンをやしましょう。」と英語で言います。誘われた時は、断らずに気持ちよくジャンケンに応じてください。
では、相手を誘う時の言い方を英語で行います。先生の後に続いて言ってみましょう。
・Excuse me. Let's play janken.
・OK. / Yes, let's.

児童が活動への取り組み方を把握し、スムーズに行動できるように、事前に見本を見せるとよい。形

・Excuse me. Let's play janken.
・OK. / Yes, let's.

10分

態としては次のような形が考えられる。
教師一人
教師と児童
二人の児童

頑張った友達を頌える雰囲気を作る。

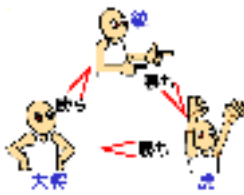
“Raise your hand.”
と言う時は、教師も手を挙げ、英語の意味を理解させる。
クラスの実態に応じて、勝った回数を英語で言うこともできる。

4 外国にもジャンケンがあることを知る。

外国のジャンケンに興味をもたせ、それぞれ独自の「三すくみの関係」があることを理解させる。

3つの絵の力関係が分かるように下のようにまとめる。

<ミャンマー>



<インドネシア>



5 プリントを読む。
東アジアや、東南アジアに独自のジャンケ

Very good.

では、この言い方で、たくさんの友達を誘ってジャンケンして下さい。誘われた時は、気持ちよくOK.と答えましょう。

時間は3分間です。勝った数をよく覚えておいて下さい。それから、勝った時に“OK.”、負けた時に、“Oh, no.”など、勝った時と、負けた時の感想も英語で言えるといいですね。

OK. Are you ready? Let's start.

終了後、1～3位くらいまで順位を決め、クラス全体で拍手をする。

何回勝ったのか思い出して下さい。10回以上勝った人。
Raise your hand. OK. では、11回、12回、13回、.....。
* 1位が決まるまで繰り返していく。

4 ミャンマーとインドネシアのジャンケンについて、それぞれの力関係を予想させる。

(銃、虎、大将の絵を1枚ずつ示し発問する)

これは、ミャンマーのジャンケンです。おもしろいですね。銃、虎、大将の3つの間には、日本のグー、チョキ、パーと同じようにそれぞれの力関係とその理由があります。分かりますか。

- ・えっ、手の形がグー、チョキ、パーじゃない国もあるの？
- ・銃より強いものがあるの？

このように、大将は、銃を管理できるが、虎に食べられてしまう。また、虎は銃で撃たれてしまうという理由で、三者のバランスが保たれています。

- ・へえ～、そうなの。
- ・力関係は当たったけれど、理由が違っていた。

(象、アリ、人の絵を1枚ずつ示し発問する)

次に、インドネシアのジャンケンについて力関係を考えてみましょう。象、アリ、人の3つです。

アリは、何に勝つのかなあ？

ここでは、象が人間を踏みつぶし、人間がアリを踏みつぶすことから、体の大きなものが強いようです。でも、アリが象の耳の中に入ると象が驚いて暴れてしまうので、象よりもアリの方が強いそうです。とてもおもしろい関係ですね。

5 プリントを配る

- <内容>
- ・世界地図
 - ・各国のジャンケンの手のイラスト
 - ・三すくみの関係図
 - ・かけ声

17分

ンがあることを理解させる。

国名の部分は、本来 Indonesian, Chinese のように形容詞形を使うが、本時では児童の負担を考え、「インドネシア」、「中国」のように日本語の国名と同じ発音でよいこととした。

児童がスムーズに活動できるよう、事前に見本を示せるとよい。

国際理解の観点から、ジャンケンの「かけ声は」、各国の言語を用いることが望ましい。

ここが大切！
コミュニケーション活動には、少なくとも、10分程度は時間をとりたい。

地図を見ると、日本の周りの国々には、それぞれのジャンケンがあることが分かりますね。どこの国のジャンケンがおもしろそうですか。

- ・日本のジャンケンと似ているものが多い。
- ・フィリピンのジャンケンは日本と同じだ！

手の形が同じでも、国によっていろいろな方法があってもおもしろいね。それぞれの国の「かけ声」を言ってみましょう。

例 「ヤン イン ヤオ パカ パオ イン チュップ」 (タイ)
「ワン トゥー トイー」 (ベトナム)
「カイ バイ ボ」 (韓国)

では、友達を誘って、いろいろな国のジャンケンに挑戦してみましょう。

例えば、「インドネシアのジャンケンをやろう。」という場合は、Let's play (インドネシア) janken. と言えばいいです。あとは、先ほどの『ひたすらジャンケン』と同じルールです。手や身体の形も、ワークシートのイラストをよく見てまねて下さい。

少しだけ練習しましょう。
Let's play (インドネシア) janken.
Let's play (フィリピン) janken.

Let's play (インドネシア) janken.
Let's play (フィリピン) janken.

Very good.
時間は、10分間です。Are you ready? Let's start.



Time is up. Please go back to your seat.

6 外国のジャンケンに取り組んだ感想を発表する。
ジャンケンの感想を

6 取組を通して気付いたことを発表させる。(まとめ)

いろいろな国のジャンケンを体験して感想を発表しよう。
・多くの国のジャンケンに共通している部分

発表しながら国際理解を深めさせる。

- ・「おもしろいなあ」と思った部分
- ・「意外だな」と思った部分

8分

< 児童の発表例 >

手の形が日本のゲー、チョキ、パーと同じでも、意味が異なる場合があることが分かった。

どこの国のジャンケンも、一番強いというものはなく、全て1勝1敗の「三すくみの関係」で力のバランスを保っていることが分かった。

今日は、いろいろな国のジャンケンの方法が分かったね。おもしろいことに、インドネシアのジャンケンと、日本の沖縄県に古くから伝わるジャンケンは非常によく似ているそうです。「ケンカをしないで仲良く物事を決める方法として、ジャンケンがある。」という点では、どこの国も同じだということが分かったね。
また、人を誘ったり、誘いに応じる表現として、Let's～.やOK. Yes, let's.などの言い方が使えることが分かったね。
最後に野球やサッカーに誘う言い方を言ってみましょう。

Let's play baseball. Let's play soccer.

Yes. Very good. OK That's all for today.

6 英語であいさつをする。

6 あいさつをする。